

| 課題番号 | 研究課題名 | 研究代表者 | 評価結果 |
|--|------------------|-----------------------------------|------|
| 14104015 | 骨形成機構の総括的解析とその応用 | 山口 朗（東京医科歯科大学・ 大学院医歯学総合研究科・教授） | A |
| <p>（意見等）</p> <p>①カエルをモデルとした内軟骨性骨化を調節する分子の解明、②間葉系幹細胞の性状解析と分離・移植法の確立、③骨芽細胞の分化を調節する転写因子群の機能解析の3つの目的に加え、その成果を臨床応用へ結びつけることを目指した総合的研究である。</p> <p>①については比較生物学的手法で独創性に富む成果をあげており、②についてはヒト間葉系幹細胞株 HHC7 を樹立しており、概ね目標は達成されている。また、③についても、包括的な転写因子群の同定までは至らなかったが Runx2 欠損細胞株で骨軟骨分化に関与する転写因子を同定したことの意義は大きく、この点に関しても、概ね目標は達成されている。</p> <p>これらの基礎的研究成果は一定以上の質を有しており評価できるが、目的の一つである「応用」へ向けてのアプローチはあまりなされておらず、この点に関しては今後の大きな課題と言える。</p> | | | |